

感謝

平成二十五年一月一日
平成二十五年一月三十一日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございます。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となつて誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

金員・物品のご寄附

・東京都多摩市 岩下 正代 様

ボランティア活動

・レクボランティアほがらかグループ

代表 吉田 道子 様

・レクボランティアゆずっこの会

代表 佐野 恭子 様

・北杜市高根町

保坂 多枝子 様

・北杜市高根町

佐藤 英道 様

・北杜市高根町

佐藤 美代 様

インフルエンザ・ノロウイルスが

猛威をふるっております

仁生園においても、手洗い・うがいで予防に努め、面会者の皆様にもマスクの着用にご協力いただいております。

デイサービスセンター

レクボランティアゆずっこの会様

平成九年二月より、朗読ボランティア「ゆずっこの会」として発足しはや十六年になります。



保育園、図書館での読み聞かせ等、また、厳しい先生のご指導のもと月一回の勉強会も、ご病気のため指導を受けられなくなった今は、全員同志で切磋琢磨し勉強を続けております。市の図書館運営にも参加し、発表会、文化祭への参加等々…。



月一回の仁生園での読み聞かせボランティアの当番の日は、とても楽しみです。利用者の方々は、一心に耳を傾けて下さり相槌を打ってくれたり、笑ってくれたりと楽しんでおります。これからも長く続けて行きたいボランティア活動です。

一月二十三日（水）は、干支にちなんだ話、むかし話四話の朗読をしていただきました。次回は二月二十二日（金）の予定です。



給食勉強会

ネスレ日本（株）

ネスレヘルスサイエンスカンパニー 高橋 功

昨年から定期的に病気と栄養に関する勉強会のお手伝いをさせていただいています。

発端は職員の方から「自分たちで勉強会をしたい」というご相談でした。忙しい毎日にも関わらず、更に知識を深めようとする職員の皆様方の姿勢には心を打たれました。

噛む・飲み込む力の衰え、床ずれなど、たとえ日本に三〜四年前に入ってきた言葉「サルコペ

ニア」は、筋肉の減少で転倒や骨粗しょう症の症状を緩やかにしていくことも、実は食事や栄養が深く関係していると言われています。

これからも愛寿会職員の皆様と一緒に利用者の皆様の笑顔に貢献することが出来れば嬉しいです。



愛寿会のサービスに何かご意見・ご要望がございましたら、また、施設見学等のご希望がございましたら左記までご連絡ください。

仁生園 電話 0551(32) 3340
第二仁生園 電話 0551(32) 8270

愛寿会 たより

2月号
第164号
平成25年
2月1日発行



八ヶ岳もすっかり雪化粧。平成25年1月14日の大雪以降、寒さ厳しい日々が続いております。

地域と連携した福祉の里づくり

社会福祉法人 愛寿会 理事 井出武男

四方の山々は度重なる積雪で覆われ夜明け前の外気は澄んで冷たく、朝日の量が増すにつれ空の青さと山際がくつきりと浮かび出ます。山は夏よりも一層高く神々しく迫りくるようであり、切り離された別空間のように感じられます。凜として美しいふるさとの山々に思わず手を合わせ生きとし生けるものにとつて意味ある一年でありますようにと願わずにはいられません。

仁生園入所の皆さん、職員の方々お変わりございませんか。寒中お見舞い申し上げます。

仁生園は山紫水明の小荒間の地に施設が創設されて以来、山梨県の福祉施設の先駆的役割を果たし地域社会に貢献してきました。職員の皆さんは、機会あるごとに耳にする三つの基本方針、七つの誓いを合言葉に、施設の充実、細かなサービスの提供に心をこめて取り組んでいます。年々施設の充実やサービスの質的向上を目指し入所者の介護や介助に当たっている園長様はじめ職員の皆さんに心をこめて感謝と敬意を表します。いつも笑顔を絶やさず入所者へのやさしい心配りに接するたびに「福祉は人なり」を直に感じ頭の下がる思いです。

愛寿会が高齢者や障害者の福祉施設として地域に応え今日あるのも、現板山賢治会長や

小澤澄夫顧問の福祉に対する崇高な理念や卓越した経営手腕は特筆すべきものであり、歴代理事長や園長様のご指導や職員の皆さんの精力的な活動、地域のご理解など、どれ一つ欠けても今を迎えることは出来なかったと思います。

年々進む高齢化に伴う福祉の充実のため、地域の中で福祉施設の果たす役割は一層重要になっていきます。

今秋福祉法人愛寿会高齢者施設仁生園が四十年目を迎え、また峡北地区唯一の障害者支援施設第二仁生園が昨年末五周年記念式典を行いさらなる充実を目指す年でもあります。

愛寿会が福祉社会の充実のため地域と連携し、今後益々のご発展と利用されている方々やご家族、職員の皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

三つの基本方針

- 利用者本位のサービスの実践
- 専門性の活かせる職場づくり
- 地域社会との協働と貢献

七つの誓い

「はい」、「すみません」、「ありがとう」、「おかげさま」、「どうしましたか」、「そうですね」、「お世話ください」

～ 新年互例会 ～

平成二十五年一月四日午前九時から仁生園会議室において「新年互例会」が執り行われました。小宮山理事長から新年にあたっての心構えなどの訓示がありました。



ところで、平成二十五年の干支は、「癸巳」（みずのとみ）です。「巳」の字は、蛇（へび）の象形文字だそうです。

一回り昔の平成十三年には、あの小泉さんが総理大臣に就任されました。二回り昔は、年号が「平成」となった年に当たります。

昨今の「少子・高齢化」の世相は、施設待機者数百人を抱える福祉施設にも色濃く影響を与えてきているのが現状です。

愛寿会でも、「健全な経営体制の構築」と「意欲ある人材の確保」のために、確かな給与体系の確立に向けて検討が行われています。

本年は、創立四十周年の年でもあり、充実した年となるよう努力してまいります。

～ 書き初め ～



一月三日、書き初めが行われました。新年にちなんだ手本を見ながら、「もつと大きく書いた方が良いかな?」「もう少し太く」などと言葉を交しながら筆を走らせていました。○四歳の平井様も参加され、職員と一緒に腕をふるっておられました。それぞれ個性豊かな作品に仕上がりに、皆様満足げな笑顔に満ち溢れておりました。

～ まゆ玉作り ～

一月十五日（火）、まゆ玉作りを行いました。テーブルを囲み、白・ピンク・緑のお団子を小さく丸め、枝に刺しフロアーに飾りました。この日を楽しみにしていた利用者様も、すすんで手を伸ばして作業を

されていきました。とても和やかな雰囲気

で、「きれいな色ね」

「枝に刺すのが難しいわね」などと会話もはずみ、笑顔も多く見られたひと時となりました。

た。



グループホーム「やすらぎ」

一月四（金）、新年を迎え、地域委員の清水長治様手作りの門松と入居者様合作の富士山初日の出の貼り絵をバックに、全員揃って記念撮影をしました。

また、一月八日、九日と二日間にわたり、小淵沢町の高福寺（こうふくじ）に初詣に行ってきました。

十二支のお地藏様の前で手を合わせ、百人個の鐘を鳴らして、今年一年の健康、平穩、無事を祈願して参りました。



今年の冬は寒さが厳しく積雪も多いので、皆様室内で日中活動を楽しまれる日々が続いておりますが、お天気に恵まれた日は気分転換にしたいと思っております。

感染症対策（日清医療食品）

ノロウイルスによる感染が全国的に数多く発生している中、弊社におきましても食中毒事故防止の為に、日々社員への衛生教育・指導を徹底しております。

最も大切な手洗いを始め、食材、調理器具まで全てにおきまして薬剤または加熱殺菌を行い提供させて頂いております。また、社員自身は勿論の事、同居のご家族の中に少しでも疑わしい症状



があつた場合は即出勤停止とし、高精度のノロウイルス検査を行い保菌していない事を確認した上で出勤させております。

写真は、一月二十二日（火）日清医療食品(株)山梨営業所高橋様をはじめ栄養士、調理担当者及び仁生園園長、職員による話し合いです。

三ヶ月ごとに会議を重ねていく中で、今回は、日清医療食品(株)より日頃の感染症対策事項を書類にして提出し、仁生園との理解を得ながら双方の日頃の問題点について討議をいたしました。入所者様が安心して美味しい食事をしていただくために今後も続けて参ります。

第二仁生園

まゆ玉作り



一月九日（水）、まゆ玉団子を柳にさしてまゆ玉飾りを作りました。五穀豊穡や商売繁盛の願いを込めて作物の豊かな「実り」を表現したものと云われていますが、第二仁生園では、「皆さん健康で明るく過ごせますように」と祈念し飾りました。

お茶会



一月二十三日（水）、午後のひと時に利用者様と職員でお茶会をしました。ドリップしたコーヒーやジュースとケーキを食べながら歓談をしました。

普段のインスタントコーヒーと違い、香りよいコーヒーに皆さん和やかな様子でした。



「人ねっこアート」展 鑑賞

一月二十九日（火）、山梨県立美術館へ「人ねっこアート」展を見に行きました。この展覧会は、「元気に活動する利用者さんの表情をお伝えします。」とのスローガンで山梨県内の障害者の方が描いた絵二〇〇点を超える作品の内、第二仁生園でも八名の利用者様の作品が展示されました。

「大きな美術館に展示されて感激。」と誇らしげな表情や、「大勢の皆さんの作品に驚きました。」と熱心に見られていました。



美術家や施設職員などをつくる「山梨・人ねっこアートワーク」が主催。県内の障害者福祉施設や作業所、支援学校などで制作された二三四人の三三九点を展示。身の回りの花や果物を描いた絵や、好きなオートバイを細部まで描いた力作、豊かな色遣いの抽象画など幅広い。（インターネットより）一月三十一日まで作品が展示されました。